



セーフコミュニティ通信 Vol.30

8月23日発行

さいたま市セーフコミュニティ事前指導を実施しました！

令和7年度のセーフコミュニティ国際再認証取得を見据え、国際セーフコミュニティ認証センターから現地審査員1名・オンライン審査員2名を招へいし、令和6年7月31日（水）・8月1日（木）の2日間に渡り、さいたま市セーフコミュニティ事前指導を実施しました。当日は、各対策委員会及びデータ分析検討会議が、それぞれの課題分析や取組状況等を報告し、審査員から今後の活動に関するアドバイスをいただきました。



データ分析検討会議による報告



審査員のミーガン・ブラザートン氏（中央）と清水市長

④

- ◎事故やケガを分析する際は、件数の「多さ」だけではなく「増加率」に注目することで、対象者の範囲をより広げられるのではないか。
- ◎再認証を目指す上では、前回認証時からの変化や成果を可視化することがポイント。
- ◎対策委員会同士・担当課同士がコラボレーションすることで、より良い取組に繋がるのではないか。

審査員からの 主なアドバイス



＼審査員の皆様、貴重なアドバイスをありがとうございました／
～Thank you your useful advice !～